



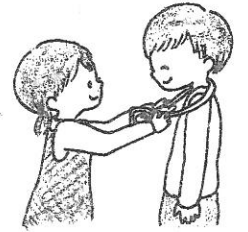
泣きながら登園したあの日。駅の階段の昇り降りが不安定な足取りだったあの頃。少し大きめの制服に身も心もしっくりいかず、居心地悪そうにしていたあの日。「年長さん」「大きいくみさん」と言われることは嬉しいけれど、時に少ししんどくなったあの頃。泣いたり、笑ったり、怒ったり、喜んだり、悲しんだり、悔しがったり、我慢したり、譲ったり、許せたり、子どもたちはいろんな自分の感情と向き合いました。一緒に遊んだり、喧嘩したり、仲直りしたり、おしゃべりしたり、話し合ったり、力を合わせたり、友だち・仲間と色々なことを経験しました。そして「今」があります。これまでの毎日の繰り返しが自信を生み、その積み重ねが力となって身に付いていることを感じます。子どもの頑張る力、乗り越える力、適応する力に感心するばかりです。

昨日は卒園式を前に、ホールで年長児との「おわかれ会」を行ないました。年長児の姿は頼もしく、年少・年中児の“あこがれ”そのものでした。けれど、年中児はその“高嶺の花”に手が届きそうで、年少児はその距離をうんと縮めていて、それぞれの成長を感じました。関大幼稚園の教育と伝統が、遊びを通して年長児から年少・年中児へ伝わるひとときでした。

自分以外の人の感情（気持ち）を想像するのは大人でも難しいことですが、私たちは、子どもたちが様々な経験を通して、年齢なりの心の成長を遂げられるよう取り組んでいます。又、内面の育ちと同様に“自分で考えて行動できる子どもに”と願いながら子どもたちと関わる3年間です。その年少児の3学期・年中児の6学期・年長児の9学期というひとつの節目を本日終えました。至らぬ点は十分反省し、次へ繋げたいと考えています。この1年間、たくさんのご理解とご協力、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

卒園される方、お引っ越しされる方、どうぞお元気でお過ごしください。そして又いつの日か、お目にかかれることを楽しみにしております。

おわかれ会



- ・年長児入場 . . . 年中・年少児が拍手で年長児を迎えました。
年長児は少し照れくさそうに、でも満面の笑みで、年中・年少児と向かい合う前の席に座りました。
- ・うた「関西大学幼稚園こどものうた」 . . . みんなで
- ・年少児 . . . 担任が年少児に代わって年長児へありがたの気持ちを伝えた後、年長児につないでもらった手で、「たんぼぼ」の歌に合わせてタンポポのお花を作り、それを年長児に「どうぞ . . . 」と渡しました。
- ・年中児 そらぐみ「ほしぐみさん、ゆきぐみさん、お着替え教えてくれてありがとう、もう自分でできるようになったよ。クッキー、お月見団子、焼き芋を作ってくれて、ありがとう、美味しかったよ。今度はそらぐみが作ります。任せてください。お店屋さんに誘ってくれてありがとう。カモ当番、小鳥当番、頑張るよ。小学校へ行っても元気でね。」とクラスで相談して決めた言葉をみんなで伝え、その後「オーイ、春」を歌いました。
はなぐみ「ほしぐみさん、ゆきぐみさん、クッキー作ってくれてありがとう、美味しかったよ。一緒に遊んでくれてありがとう。へびジャンケン教えてくれてありがとう。お店屋さんに誘ってくれてありがとう。小学校、楽しんでね。元気でね。」と言葉を送り、ゆきぐみに教えてもらった「お寺の和尚さん」をしました。
- ・年長児 . . . 大きくなったら楽しいことがいっぱいできるよと、あやとり・マフラー・兄弟すずめ・折り紙・コマ回し・ちょうちょ・とんび・なわとび・五色の玉、を見せてくれました。そして「はじめの一步」の歌を聞かせてくれました。
- ・先生 . . . 「はなさかじいさん」の人形劇
- ・年中児から年長児へチューリップのペンダントをプレゼントしました。
- ・年長児退場 . . . 年中・年少児、先生たちで花道を作り、拍手で送りました。